

弘前大学学報



作家 高橋克彦氏による特別講演会

第 134 号
平成27年 5月号

目 次

学内ニュース

○株式会社楽天野球団との連携推進事業 楽天球団社長による特別講演会「日本一愛される球団を目指して」を開催	----- 1
○リンゴとチューリップのフェスティバルを開催	----- 2
○深浦町との包括連携協定を締結	----- 3
○深浦町長による講演会「深浦町が目指す『地域創生』」を開催	----- 4
○第7回 COI 特別講演会「接続可能な社会の構築のために COIプログラムの展開と弘前大学への期待」を開催	----- 5
○作家 高橋克彦氏講演会「北の炎（ほむら）」を開催	----- 6

諸 会 議	----- 7
-------	---------

人 事

○新任教授紹介	----- 10
○人事異動	----- 10

主要日誌	----- 12
------	----------

学内規則	----- 13
------	----------

株式会社楽天野球団との連携推進事業
楽天球団社長による特別講演会
「日本一愛される球団を目指して」を開催

本学では、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を一層推進し、地域の再生・活性化の拠点となる大学を形成するため、株式会社楽天野球団社長による特別講演会「日本一愛される球団を目指して」を、平成 27 年 5 月 7 日（木）に弘前大学創立 50 周年記念会館みちのくホールで開催しました。

この特別講演会は、東北地方においてプロ野球球団を始め様々な事業を展開している株式会社楽天野球団と連携し、同野球団の地域（東北）を志向した事業の展開や、地方企業としてのノウハウを本学学生及び教職員に地域志向的意識を啓発する事を目的として開催されました。

特別講演会では、佐藤学長をはじめ、役員など幹部職員及び学生など、合わせて約 230 名が聴講しました。講演者の立花 陽三 社長からは、時折、質問形式や東北楽天ゴールデンイーグルスの現状についての話を交えながら、「東北ろっけん活動」、「TOHOKU SMILE PROJECT」及び、学生による学生のための動員企画「楽天イーグルスキャンパスアンバサダー」等の事業が紹介され、「ファン・地域にとって無くてはならない存在」＝「日本一愛される球団」を目指す楽天野球団の目標について講演されました。講演後、学生から活発な質問が飛び交い、特別講演会は盛況のうちに終了しました。



講演する立花球団社長



熱心に講演を聞く学生達

リンゴとチューリップのフェスティバルを開催

5月9日（土）、10日（日）、本学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場において、「リンゴとチューリップのフェスティバル」を開催しました。このフェスティバルは、地域の皆様に農場の教育・研究および社会貢献の成果について知っていただくため毎年行っているものです。

農場実習で整備したチューリップ園には、16品種13,000本のチューリップが咲きほこり、57品種1,200本のリンゴ樹も満開を迎え、農場を美しく彩りました。その結果、約2,000人のお客様に会場へ来ていただき、活況を呈しました。

会場では、農場教員や技術職員による日頃の研究成果のポスター発表や講演も行われ、チューリップやリンゴに関するたくさんの質問が寄せられました。

また、農場産品の販売コーナーでは、藤崎農場産の「紅の夢」「弘大みさき」「紅玉」のジャム、「こうこう」「弘大みさき」「弘大1号」等のジュース、金木農場産のお米が販売され、長い行列ができました。さらに昨年度から出展を始めた、共同研究を行っている自治体・企業のブースでもリンゴ加工品や地元の野菜、堆肥、チューリップ苗など様々な商品が販売され、研究成果の一端が紹介されました。平川市からかけつけてくれたゆるキャラ5体も、食育の大切さについて子供たちにやさしく教えてくれました。



来場者でにぎわうチューリップ園



技術職員による講演会の様子



盛況を見せた自治体・企業のブース



ゆるキャラと記念撮影

深浦町との包括連携協定を締結

5月15日（金）、相互の密接な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的として、本学は深浦町との包括的な連携協定を締結しました。

調印にあたって、吉田深浦町長から、平成26年度に策定した第2次総合計画の重点プロジェクトである①定住促進②一次産業と観光業の結合③地域医療・地域包括ケアの促進・充実に向けた協力体制の構築について、協定締結を機に弘前大学と深浦町相互の発展を目指したいとの挨拶と、佐藤弘前大学長から、協定締結を機に、本学所有のセミナーハウスや臨海実験所及び、重点研究フィールドでもある白神山が深浦町にあり、町全体をエリアキャンパスと位置付け、地域人材育成、学術研究の場の拡大を検討し、青森型地方創生のさきがけのお手伝いをしたいとの挨拶がありました。

調印式には、深浦町から菊池副町長、坂本教育長、村上会計管理者、佐藤財政課長、松沢総合戦略課長、松沢農林水産課長、春藤観光課長が、弘前大学からは大河原理事（社会連携担当）、堀内学長特別補佐、小山副理事、佐々木農学生命科学部長、嵯峨食料科学研究所長、小田桐社会連携課長が同席しました。



協定書を手にする佐藤学長（中央右側）と吉田深浦町長及び各関係者

深浦町長による講演会「深浦町が目指す『地方創生』」を開催

本学では、幹部級職員を主な対象とした社会連携や地域貢献にかかるFD・SD事業の第8回目として、青森県深浦町長による講演会「深浦町が目指す『地方創生』」を、平成27年5月19日（火）に弘前大学創立50周年記念会館岩木ホールで開催しました。

この講演会は、先に行われた青森県基本計画等に関する説明会や、青森市長による講演会等続くもので、地域志向大学として県内全域での地域貢献活動を一層推進していくために、青森県東青地域の現状や同地域の将来ビジョンに関する見識を深めることを目的として開催されました。

講演会には、佐藤学長をはじめ、役員、部局長、教育研究評議員など幹部職員らが、また、弘前市や弘前商工会議所など、学内外合わせて53名が出席。講演者の吉田 満 深浦町長からは、深浦町の現状について、過去に行われた「まちづくり住民アンケート結果」を元に、町産業振興・生活環境改善のための取組として7つの事業説明があり、途中「深浦マグロ」についての動画も交えながら紹介されました。

さらに、「第2次深浦町総合計画」についての取組として、定住促進プロジェクト、第一次産業と観光業の融合による地域振興プロジェクト及び、地域医療・地域包括ケア推進プロジェクトの3つのプロジェクトについても紹介があり、弘前大学との一層の連携強化、充実を進めていきたいとの抱負が述べられました。



講演される吉田深浦町長



質問する佐藤学長

第7回 COI 特別講演会「接続可能な社会の構築のために
COI プログラムの展開と弘前大学への期待」を開催

5月21日(木)、弘前大学大学院医学研究科基礎大講堂において、COI 総括ビジョナリーリーダー(名古屋大学 総長顧問・科学技術学術審議会 会長)の 濱口 道成 氏を講師にお招きし、「接続可能な社会の構築のために COI プログラムの展開と弘前大学への期待」と題した特別講演会を開催しました。

本学は、平成25年11月に文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」に採択され、「略称：真の社会イノベーションを実現する革新的『健やか力』創造拠点」として、企業および自治体とアンダーワンループの下「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」を進めております。本講演会は、この活動を推進するにあたり、更なる知見を深めることを目的に実施しているもので、今回で7回目の開催となります。

講演会では、新たな健康・医療新産業創出に関わる COI の対応、青色 LED 開発から波及効果までの道のり、接続可能な社会の実現へ向けたイノベーションを育む文化・イノベーターの DNA となる5つの技量などについて、御講演いただきました。

当日は約170名の一般の方、学生や教職員、企業等関係者が聴講し、講演後にも濱口氏に個別に質問を行い、熱心に意見交換がされていました。

今後、本拠点では少子・超高齢化社会のイノベーションを弘前から創出すべく、他 COI 拠点間の繋がりを一層強化し、COI 事業を展開する予定です。



挨拶する中路研究リーダー



講演する濱口総長顧問



熱心に聞き入る聴講者



質問する佐藤学長

作家 高橋克彦氏講演会「北の炎（ほむら）」を開催

本学では、文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に採択されたことを受け、青森県の地域課題の克服や、「青森ブランド」の価値の創造に向けた様々な取組を進めています。その一環として、平成27年5月22日（金）に、作家の高橋克彦氏をお招きし、本学学生・教職員に青森県を含めた東北地域の歴史や文化をより一層学んでもらうことを目的とした特別講演会を、弘前大学創立50周年記念会館みちのくホールで開催しました。

当日は、佐藤学長をはじめ、教職員や学生など合わせて約280名が出席し、会場は満員となり、講師の高橋克彦氏から、日本の古代神話についての話を交えながら、津軽地域の地名の由来や地域の人々が持つ「和」を大切に作る心が、東日本大震災の際に万人平等の姿勢に現れ、外国から賞賛されたこと等が紹介されました。特別講演会は、当初予定していた時間をオーバーして盛況のうちに終了し、講演後、学生や教職員から高橋克彦氏の講演を聴くことができ、大変貴重な機会を得ることができたとの声や、もう一度講演会を開催してほしいとの要望が寄せられました。



講演される高橋克彦氏

諸会議

▼役員会

5月11日（月）

審議事項

1. 教育組織の再編について
2. 平成27年度教員業績評価について
3. 弘前大学名誉教授について
4. 弘前大学表彰候補者の推薦について
5. 研究・イノベーション推進機構規程の改正について
6. 平成27年度戦略的経費について
 - (1) 企画担当理事分について
 - (2) 総務担当理事分について
 - (3) 教育担当理事分について
 - (4) 研究担当理事分について
 - (5) 社会連携担当理事分について

報告事項

1. 平成27年春の生存者叙勲受章について
2. 第3期中期目標・中期計画（素案）について
3. 特別講演会の実施について
4. 平成28年度国立大学法人運営費交付金概算要求について
5. 科研費獲得支援事業について
6. 平成28年度学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦について
7. 深浦町長による講演会「深浦町が目指す「地方創生」」の開催について
8. その他
 - (1) 弘前大学特別講演会の開催について

5月18日（月）

審議事項

1. 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程の一部改正について
2. 国立大学法人弘前大学における教員の任期に関する規程の一部改正について
3. 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則の一部改正について

報告事項

1. 平成27年度弘前大学機関研究について
2. 平成27年度弘前大学若手・新任研究者支援事業の公募について

▼教育研究評議会

5月12日（火）

審議事項

1. 教員組織の再編について
2. 研究・イノベーション推進機構規程の改正について
3. 弘前大学名誉教授称号授与について

報告事項

1. 教員の採用等について
2. 第3期中期目標・中期計画（素案）について
3. 特別講演会の実施について
4. 新しい教養教育に係る管理運営体制の検討について
5. 平成27年度弘前大学機関研究について
6. 科研費獲得支援事業について
7. 平成28年度学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦について
8. COI事業について
9. 深浦町長による講演会「深浦町が目指す「地方創生」」の開催について
10. 第3期中期目標・中期計画における、ジェンダーバランスに係る数値目標の設定について
11. 委員会等報告
 - (1) 教育推進機構会議（4月24日開催分）
 - ① 新しい教養教育の体制整備に向けた検討スケジュールについて
 - ② 新しい教養教育の運営体制の具体化について
 - ③ 弘前大学グリーンカレッジの設置について
 - ④ その他
 - (2) 入学試験委員会（4月24日開催分）
 - ① 平成28年度入学者選抜試験行事日程、編入学入試日程及び大学院入試日程について
 - ② 平成28年度試験会場について
 - ③ 平成28年度オープンキャンパス日程について
 - (3) 21世紀教育センター運営委員会（4月23日開催分）
 - ① 平成27年度非常勤講師による授業計画の変更について
 - ② 平成27年度授業計画の変更について
 - ③ 平成27年度ティーチング・アシスタントの採用計画について
12. その他
 - (1) 弘前大学特別講演会の開催について
 - (2) 弘前大学レンタルラボ入居者募集について

▼教育委員会

5月27日（水）

審議事項

1. 平成28年度授業日程（案）について
2. 平成27年度前期「学生による授業評価アンケート」の実施について
3. 障害のある学生の修学支援に関する専門委員会について
4. ボランティア活動団体助成の選考について
5. 体育・スポーツ施設運営担当教員連絡協議会委員について

報告事項

1. 支援が必要な学生の把握について
2. 「弘前大学学生担任制度」に関する実施状況調査の結果について
3. 平成27年度弘前大学ドリーム講座について
4. 弘前大学見学会について
5. 学生の急性アルコール中毒について
6. 学生総合相談室及び障害学生支援コーディネーターの相談事項・件数等報告について
7. 学生寮の消防訓練の実施について
8. 日本学生支援機構奨学生の推薦について
9. 中村積善会奨学生の推薦について
10. 課外活動団体の結成について
11. 安全講習会の開催について

新任教授紹介

【平成27年5月1日発令】



医学研究科
タカハシ シルシ
高橋 識志
 採用
 前職: 埼玉医科大

人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年05月01日		高橋 識志	教授(医) [H37.4.30まで]
H27年05月01日		松本 杏菜	助手(医) [H32.4.30まで]

[任期更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年05月01日	助教(医)	会津 隆幸	助教(医) [H32.4.30まで]
H27年05月01日	助手(病)	佐々木 剛範	助手(病) [H32.4.30まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年05月01日	助教(医)	堀内 大輔	講師(医)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年05月01日	助教(病院)	矢越 ちひろ	助教(医)
H27年05月01日	助教(医)	丹羽 英智	助教(病院)
H27年05月01日	助教(病院)	小野 朋子	助教(病院)
H27年05月01日	助手(病院)	大石 将文	助手(病院)

H27年05月01日	医療技術補佐員（病院）	松橋 敬晃	診療放射線技師（病院）
H27年05月01日	医療技術補佐員（病院）	川村 麻緒	臨床検査技師（病院）
H27年05月01日	医療技術補佐員（病院）	岡田 壮士	臨床検査技師（病院）
H27年05月01日	医療技術補佐員（病院）	川越 尚平	理学療法士（病院）

[育児休業]

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
H27年05月01日	その他の一般職員（病院・総務）	小林 陽子	職務復帰
H27年05月02日	看護師（病院・看護）	工藤 美幸	育児休業開始 [H28. 3. 31まで]
H27年05月04日	看護師（病院・看護）	佐々木 祐子	育児休業開始 [H28. 3. 31まで]

[休職]

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
H27年05月01日	看護師（病院・看護）	大沢 美紗姫	期間延長 [H27. 5. 31まで]

[離職]

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
H27年05月18日	主任（病院・経調）	浦田 俊一	死亡
H27年05月31日	看護師（病院・看護）	山田 基矢	辞職

主要日誌

- 5月 7日 株式会社楽天野球団との連携推進事業
球団社長による 特別講演会「日本一愛される球団を目指して」
- 9日 リンゴとチューリップのフェスティバル開催（～10日）
- 11日 第432回役員会
- 12日 企画戦略会議
〃 教育研究評議会
- 15日 深浦町との包括連携協定締結
- 18日 第433回役員会
〃 経営協議会
- 19日 深浦町長による講演会「深浦町が目指す『地方創生』」
〃 事務連絡会議
- 21日 第7回 COI 特別講演会
「接続可能な社会の構築のために COI プログラムの展開と弘前大学への期待」
- 22日 作家 高橋克彦氏講演会「北の炎（ほむら）」

学内規則

(平成27年5月13日改正)

○弘前大学研究・イノベーション推進機構規程

機構において、研究・イノベーションに関する助言及び指導を受けることを目的に戦略アドバイザーを置くことを可能とするため、上記の規程を一部改正した。

(平成27年5月27日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学契約職員就業規則

医学部附属病院の診療業務に従事する医員について、著しい精神的緊張や心労を伴う困難な業務という特殊性及び常勤の医師との均衡を考慮し、交代制業務手当を支給するため、上記の規則を一部改正した。

(平成27年5月27日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程

研究推進部研究推進課東京事務所事務室に勤務する職員の勤務時間について、業務内容に鑑み中央官庁の開庁時間に合わせた勤務時間とするため、上記の規程を一部改正した。

弘前大学学報第134号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111